

会社の目的は何でしょうか？

4月11日から「重要作業ポイント集」の中から仕業検査車両所が13項目選び、社員に対して教育を行ないました。仕事が終わりと心身とも疲労困憊している時に、1時間半ぐらいの教育で、その後すぐに理解度確認テストが行なわれましたが、理解不足な社員が出てきてもあたりまえではないでしょうか。また理解不足な社員には事前に説明をすることもなく13項目全てと膨大な範囲の再テスト、再々テストを行ってきたのです。

そもそも会社が行なった「重要作業ポイント集」の教育の目的は何でしょうか？

社員に対して13項目選びだした重要作業のポイントを周知徹底させることにあるのではないのでしょうか。その目的からすれば、理解度だけで判断し見せしめ的な再テスト、再々テストを行うことは本来の目的から外れていると考えます。

本来の目的とは？

会社は理解度確認なるテストの結果を、「重要作業のポイントを周知徹底させる」事にいかに結びつけていくのが大切であり、社員にいかに周知徹底させるのが問われてくるのではないのでしょうか。理解度確認テストにおいて理解度に関係なくテストの結果をもとに何度も机上も含め、実車訓練を行なう事こそ重要ではないのでしょうか。

今後どの様にするの？

仕業検査車両所においては、今後13項目の中には1度も作業に携わらない作業も出て来るでしょうし、1～2年経った時に携わる作業が出てくることも考えられます。そもそもいつ携わるかわからないのであって日頃からの訓練が大切なのです。だから一度のテストの結果が悪いからといって再テスト、再々テストを行なうこと自体、会社の自己保身の表れであり、目的から逸脱している事は明白です。13項目の「重要作業のポイント」を習得する為には、何度も机上、実車訓練を行なうことを強く要望します。

会社は、安易にテスト結果だけを重要視する姿勢を改めるべきです！